

# 食育カルタの作成と食育活動への活用

～女性農業者による食農教育が活発化～

加藤夕子（西三河農林水産事務所農業改良普及課）

【平成24年11月13日】

## 【要約】

愛知県農村生活アドバイザー協会西三河支部碧海分会（現会員数37名。以下、農村生活アドバイザー）が、消費者や子ども達を対象に食の大切さや地域農業の理解促進を図る活動の一つとして食育カルタの作成に取り組んだ。農業者としての思いを込めた食育カルタはA4サイズ版5部と家庭版60部が自費作成された。作成された食育カルタは、農業祭や農業体験会、小学校の授業等、地域の食育推進活動で活用されている。また、女性農業者が地域農業をPRする際に役立っている。

## 1 はじめに

女性農業者には地産地消や食育に関する講師活動、情報発信などを積極的に行い、若者や地域住民に理解される地域社会の形成、魅力ある農村社会づくりへの参画が期待されている。

そこで、女性農業者のリーダー的存在である農村生活アドバイザーが地域農業の理解促進と食育活動の推進を目的として、食育カルタの作成及びイベント等での活用に取り組むこととした。

## 2 取組対象

対象は農村生活アドバイザーとした。なお、農村生活アドバイザーは、これまで寸劇による情報発信（家族経営協定の推進、男女共同参画社会の推進、食育推進）を実践してきた。また、保育園、小学校等での地産地消推進活動（食育紙芝居上演、地産地消料理指導）を実施している。

## 3 取組結果

### (1) 食育カルタ作成への合意

農村生活アドバイザーの役員会で食育カルタ作成の目的について話し合い、会員全員で作成する方針を固め（22年4月）、全会員に諮り作成合意を得た（5月）。

### (2) 食育カルタ作成方法

#### ア 作成事前研修（5月）

食育カルタの作成にあたり、食育推進の基本方針を確認するため、「あいち食育いきいきプラン」の概要について学び、作成時の視点の意識統一を図った。また、あいちの食育標語百選を参考資料として配付した。特に、女性農業者が生産者として日頃伝えたいと感じている内容が盛り込まれたカルタとなるように、作成の留意点を確認した。

## イ 食育カルタの作成

### (ア) 読み札の作成

食育カルタは、まず読み句を決定し、その読み句に合う絵を描く手順で作成した。句と絵の作成については全会員が携わるように、句の募集時に会員ごとに考案する句の頭文字を割り当て、各頭文字に対して10案以上の句を募集した(5月)。

読み句の決定は、役員による選定協議会にて行った。また、選定した句全ての補足説明内容についても役員協議で行った(6月)。

### (イ) 絵札の作成(6月)

決定した読み句を基に、会員ごとに描く句を割り当て、A4画用紙に絵を描いた。絵札は油性マジックとクレヨンを用いて描いた。

### (ウ) 札の製本

読み札はA6の画用紙に印刷した。また、碧海5市各地で活用できるように、絵札はスキャナで読み取りデータ化し、増し刷りした。役員で読み札と絵札をそれぞれフィルムでパウチし、食育カルタを5部作成した。

## ウ 食育カルタの活用

完成した食育カルタは、5市で各1部を所有し、地域行事での食育推進活動で活用を促した。具体的には、各地農業祭や親子農業体験会でのカルタ取り大会、地産地消に関する小学校での授業での紹介・解説、イベントでの展示という形で活用されている。

## エ 食育カルタの小型化

完成したA4サイズ版食育カルタはイベントでの活用に適していたが、活用場面の拡大をねらい、小型化した家庭版食育カルタの作成に取り組んだ。箱入りの厚紙でできたカルタと箱のデザインを役員会で協議し、印刷に至った。家庭版食育カルタは、全会員が1部所有し、地域行事での活用と各家庭での食農教育に活用している。



家庭版食育カルタ



碧海農業フェスティバル  
でのカルタの活用事例  
(平成22年11月27日)

#### 4 まとめ

- (1) 農村生活アドバイザーが新たな食育推進手段として食育カルタの作成に取り組んだ。作成にあたっては、全会員が読み札と絵札の作成に携わり、A4サイズ版食育カルタ5部と家庭版食育カルタ60部を作成した。
- (2) 農村生活アドバイザーは自らが作り上げた食育カルタを活用しようという意欲が高まった。また、作成した食育カルタは各地農業祭や親子農業体験会、小学校等で活用され食の大切さや地域農業の理解促進に繋がった。



刈谷地区農業まつりでのカルタの活用事例（平成23年11月19日）